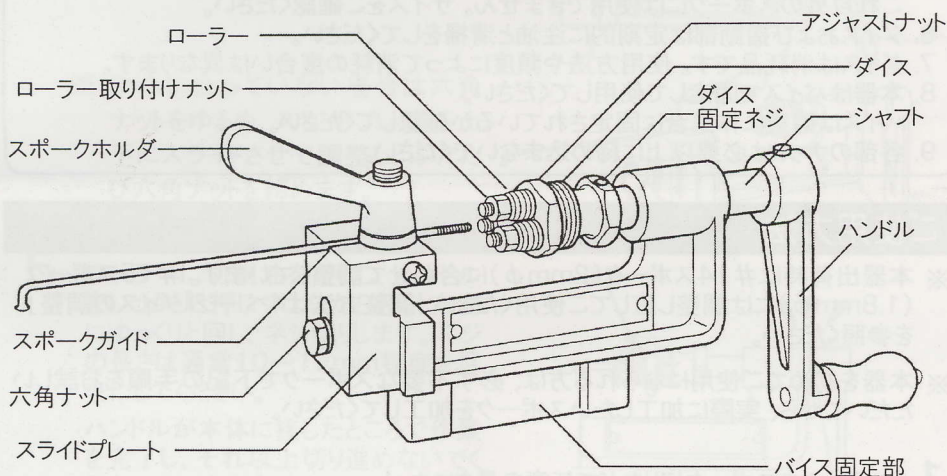
HOZAN 取扱説明書

# C-700

## スポークネジ切り器

このたびは ホーザン C-700 スポークネジ切り器 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあとも大切に保管してください。

## 各部の名称

※ダイス固定ネジは六角穴付き止めネジです。
2.5mm六角レンチで回してください。

## 仕　様

| 適応サイズ | ＃14･＃15 ※ |
|---|---|
| 適応スポーク | ステンレス･鋼鉄製 |
| 外形寸法 | 190(W)×95(H)×30(D)mm |
| 重　量 | 820g |

※出荷時は＃14スポークに合わせて調整しています。＃15スポークには調整し直してご使用ください。

## 注意文の警告マークについて

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

⚠警告 …重傷をともなう重大事故の発生を想定してのご注意

⚠注意 …傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、⚠注意 として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねく恐れがあります。正しく安全にご使用ください。

## ご使用上の注意

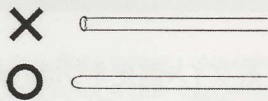
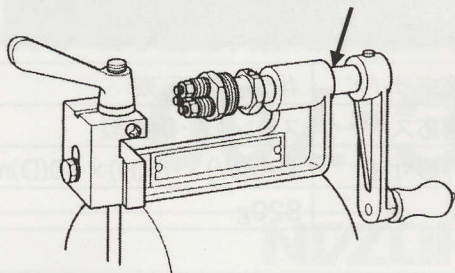
⚠ 注意

1. 無理な姿勢で作業しないでください。
2. 作業時は保護メガネを着用してください。
3. 改造はしないでください。
4. 本器に割れ、欠け、磨耗、変形などが認められる場合は使用しないでください。
5. 本器は＃14・＃15のスポーク専用です。
   これ以外のスポークには使用できません。サイズをご確認ください。
6. ダイスおよび摺動部は定期的に注油と清掃をしてください。
7. ダイスは消耗品です。使用方法や頻度によって消耗の度合いは異なります。
8. 本器はバイスで固定して使用してください。
   バイスは確実に作業台に固定されているか確認してください。
9. 各部のナットは必要以上に締め込まないでください。

## ご使用方法

※ 本器出荷時は＃14スポーク(2mmφ)に合わせて調整しています。＃15スポーク(1.8mmφ)には調整し直してご使用ください。調整方法は4ページ「ダイスの調整」を参照ください。

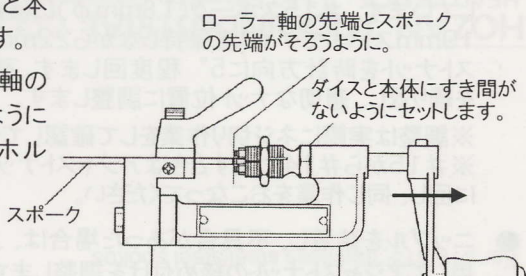
※ 本器を初めてご使用になられる方は、必ず不要なスポークで下記の手順をお試しいただいてから、実際に加工したいスポークを加工してください。

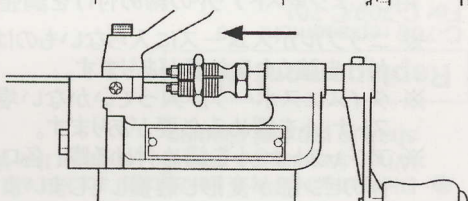
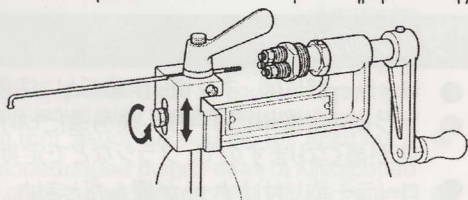
**1** スポークをスポーク切りなどで任意の長さにカットします。
カット後、スポークは×印のように変形します。
ダイスの食いつきが悪くなりますので、グラインダーなどで○印のように整えてください。

**2** 作業台にしっかり固定されたバイスを用意します。本器のバイス固定部をバイスで確実にはさんで固定します。
図の矢印部分に切削油を少量たらしてください。

## ご使用方法

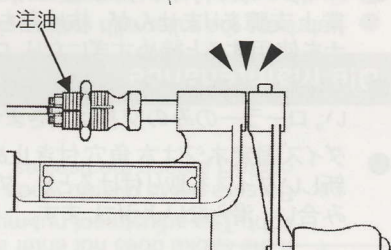
**3** ハンドルを最大限引いて、ダイスと本体にすき間がないようにセットします。

1で用意したスポークを、ローラー軸の先端とスポークの先端がそろうようにスポークガイドに通し、スポークホルダーでしっかりと固定します。

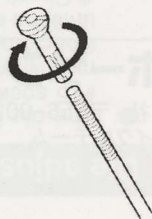
ローラー軸の先端とスポークの先端がそろうように。

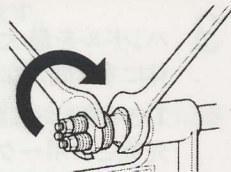
ダイスと本体にすき間がないようにセットします。

スポーク

**4** ハンドルを持ってシャフトをスライドさせ、スポークの先端をローラーの中心に合わせます。

※ 中心に合っていない場合は六角ナットをゆるめ、スライドプレートを上下にスライドさせて調整し、ふたたび六角ナットを締めます。

**5** ローラーに切削油をたらし、ハンドルをしっかりと押しつけながら時計方向にゆっくりと回し、ネジ切りします。ネジの長さは通常10～12mm程度を目安にしてください。
ハンドルが本体に接したところで作業を完了し、それ以上切り進めないでください。スポークやダイスを破損する恐れがあります。

注油

**6** ネジを切り終わったら、ハンドルを軽く引きながら反時計方向に回して戻します。

**7** 使用後は、ローラー軸の弾性を保つためにアジャストナットを緩めて保管します。

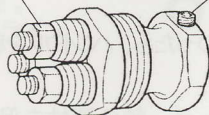
**8** 加工後のスポークは、使用するニップルを実際に装着して、ネジ山のでき具合をチェックします。不具合の場合はダイスの調整が必要です。調整方法は次ページの「ダイスの調整」を参照ください。

## ダイスの調整

- ダイスは出荷時に＃14スポーク(2mmφ)に合わせて調整しています。＃15スポーク(1.8mmφ)に使用されるときは、19mmスパナでダイスを保持しながら22mmスパナでアジャストナットを時計方向に5° 程度回します。確認と、この作業を繰り返し、適切なナット位置に調整します。
  ※調整は実際にネジ切り作業をして確認してください。
  ※＃15から＃14に戻すときはアジャストナットを反時計方向に回し、同じ作業をおこなってください。
- ニップルを装着し、不具合があった場合は、上記の手順と同様に2丁のスパナを使用してアジャストナットの締め付けを調整します。

※ ニップルがスムーズに入らないものは加工が不十分です。アジャストナットの締め付けを強くする必要があります。
※ ダイスにスポークが入っていかない場合はアジャストナットの締めすぎです。アジャストナットを緩める必要があります。
※ アジャストナットを締め付ける際、各ローラーどうしが当たるまで強く締め付けると本体のピン部が変形し破損してしまいますので、締め付けすぎにご注意ください。

## ダイスの保守

- ローラー部には、ネジ切り作業ごとに切削油を注油してください。
- ネジ切り作業中にローラー部の溝に切りカスがたまることがあります。ローラーの切れ味が悪くなりますので、ブラシなどで定期的に掃除してください。
- ローラー取り付けナットが緩んだときは、軽く締めてください。緩んでいてもネジ切り作業上支障ありませんが、抜け落ちて紛失する恐れがあります。モンキーレンチやスパナを使用すると締めすぎになり、ローラー軸を破損する恐れがあります。
- ダイスは消耗品です。ローラーの切れ味が悪くなったら、ダイス一式で交換してください。ローラーのみの交換はできません。
- ダイス固定ネジは六角穴付き止めネジです。2.5mm六角レンチで回してください。新しいダイスを取り付けるとき、ダイス固定ネジの先端がシャフトの窪みにちょうど噛み合い、滑らないようにします。

### 交換ダイス

C-706 替駒
(C-700/C-701用ダイスです。)
＃14・＃15スポーク用
ステンレス／鋼鉄製スポーク用

**ホーザン株式会社**

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12
サイクルチーム TEL(06)6567-3113
FAX(06)6562-0024

技術的なお問い合わせ
ホーザン テクニカルホットライン
TEL(06)6567-3132
月曜日から金曜日(祝日を除く)の 9:15～12:00、13:00～17:00



09.02A